



生きる

矢巾町民劇場 第26回公演

矢巾町民劇場第26回公演が2月11日、12日、田園ホールで行われました。2日間の公演で来場者は計507人。実の親を知らずに育った男・山田孝の36年という短い生涯を描いた「生きる」。多くの人に支えられ、病に苦しみながらも、懸命に生き抜く姿が周囲に影響を与える物語で、キャスト・スタッフ93人が作り上げました。

さまざまな関わり合いの中で、「人の生き方」が紡がれていく舞台に約2時間20分の公演後、会場は感動に包まれました。



公演を終えて

沼田航明さん (不来方高校2年・南煙山)

主人公・山田孝役

初めての町民劇場参加で主演。公演2日目には家族も来ていて緊張した。来年は受験があるので参加できないが、再来年は絶対に参加したい。そのくらい楽しかった。

川又彩里さん (杜陵高校3年・西徳田1区)

孝の双子の姉で看護師・サト役

祖母（榮子さん）が看護師だったので、衣装を作ってもらったり、包帯の巻き方を指導してもらったりした。いろんな方の手助けがあり、演じ切ることができた。

